

平成16年度 三春ダム水質対策検討会 開催される

去る12月17日「平成16年度三春ダム水質対策検討会」が三春ダム管理所会議室において開催されました。

水質対策検討会とは、今年度までの水質調査結果を基に有識者による水質状況・水質管理についての意見・助言の場とされているものです。



当日は、2部構成で行い、第1部では、上流域の下水処理施設「大滝根水環境センター」の視察を行いました。今年の4月より船引町の一部の下水処理を開始したもので、施設による汚水の処理効果を発揮しているところを確認しました。また、来年度以降処理区域も増加していく事、将来的な高度処理の可能性なども説明して頂き、大変有意義な現場視察でした。



続いて第2部の検討会に入り、今年度調査を行った藻類の季節変化、流動制御の効果、深層曝気の効果把握などについて、事務局からの報告を行った。委員の方々からは藻類の変化は水温・日射・栄養塩類のみで決定するのか？、流動制御は、高水温出水の場合表層取水により対応してはどうか？等の貴重なご意見を頂きました。



今後も、委員会での意見を基に水質管理、運用を実施し、より良い水質を目指していきたいと思っております。

平成16年度 「阿武隈川上流児童図画コンクール」表彰式

12月24日（金）に福島市ウエディングエルティールにおいて、阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会による「阿武隈川上流児童図画コンクール」表彰式が行われました。この児童図画コンクールは、阿武隈川水系における水質汚濁対策について、関係機関相互の連絡調整を目的に設置されている、「阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会」の事業の一環として、毎年実施されているもので、今年で14回目を迎えました。



このコンクールは、次世代を担う子供達に、図画の作成を通し、河川に対して愛着、関心を持ってもらうとともに、その作品を広報活動に活用することによって、阿武隈川流域に住まわれる住民の方々に対し、河川の愛護意識の普及と当協議会が実施する行事について理解を得ることなどを目的としているもので、福島県の阿武隈川流域の小学生を対象に実施しました。今年度の応募は、阿武隈川流域31市町村160校の小学校から図画部門、ポスター部門、合計2,239点の応募があり、審査の結果、図画部門特選の齋藤菜凜さん（平石小2年）、三春ダム管理所長賞の伊藤愛美さん（根木屋小6年）、ポスター部門特選の樽川知枝さん（日和田小5年）、三春ダム管理所長賞の佐久間夏美さん（石森小3年）を含め、59名の方々の作品が選ばれました。



建政行政研修を受講して

総務係 芳賀 高志

12月13日（月）～17日（金）まで多賀城研修所にて建政行政研修を受講してきました。研修の内容としては、大きく分けると、本局建政部の業務内容についてと街づくり事例紹介の2本立てで、建政部の業務については、建設業・不動産業等の許認可関係事務、それらについての不正行為に対する行政指導、住宅・都市行政、補助金業務、事業認定事務等、自分にとってはまったく未知の領域でしたが、講師のみなさんの解りやすい説明のおかげで、何とかさわりぐらいは理解できたのではないかと思います。

また街づくり事例紹介では、米沢市小野川温泉、酒田市、会津若松市七日町商店街、石巻市の街づくりについての紹介がありました。今回、事例紹介をしていただいた地域は、あくまで成功事例であり、東北地方のなかでは、比較的人口も多く、それなりの知名度もある地域でしたが、それでも街おこし、観光客誘致に大変な努力や苦勞をされているということは、他の大部分の地域は、かなり深刻な状況になっているのではないかと心配になりました。

最後に、今回の研修の内容は、現在の担当業務に直接は関わりのあるものではありませんでしたが、今後、また新たな視点から、自分の業務について見つめ直す、よいきっかけになったのではないかと思います。



さくら湖に白鳥飛来

さくら湖には、毎年多くの水鳥がやってきます。今年も12月1日に11羽の白鳥（親鳥6羽・幼鳥5羽）が漕艇場観覧席近くの入り江で、羽を休めている姿が見られました。さくら湖は浅瀬が少ないため、残念ながら白鳥が越冬できる環境ではないようで、この日の夕方、夕日に向かって空高く飛び立ってしまいました。



西方地区光ケーブルのお知らせ

この度、三春ダムでは大滝根川を監視するカメラなどのデータ伝送のために光ファイバケーブルを敷設する工事を行います。ケーブルは道路沿いに建っている既設の電柱に配線します。流域の皆様には工事期間中御迷惑をお掛け致しますが、何卒ご協力をお願い致します。

工事期間

平成17年1月6日～

平成17年2月15日頃

工事地域

- ・三春町
西方字後作地区（県道 郡山・大越線）
斎藤字戸ノ内、斎藤地区（県道 郡山・大越線）
馬上田地区（県道 斎藤・下行合線）
- ・郡山市
荒井町字東地区（市道）
中田町高倉字茂平前地区（須賀川・三春線）
中田町高倉字萩平、大平地区（市道）
中田町赤沼字温石平、赤沼地区（市道）

国土研究発表会を聴講して

管理係 高橋 良久

11月16日～17日の2日間、平成16年度国土交通省国土研究会を聴講してきました。

発表会は、国土交通省、各地方整備局より事前に出された議題について発表し合う場であり、当日は、関係者も含めて沢山の方が（昨年1,500人以上）聴講され、各議題毎に分かれた会場で討議が行われました。

発表課題は、専門技術からアカウンタビリティまで幅広く、会場が別れているため全て聴講できなかったのが残念です。今後の業務に非常に参考となる議題が多く、勉強になった2日間でした。

福祉技術セミナーに参加して

電気通信係 西村 彰仁

去る平成16年11月24日～26日の3日間、福祉技術セミナーに参加してきました。このセミナーは障害を持った方の視線を実際に体験することでバリアを取り除き、今後の道路設計や建築設計に生かそうとするものです。電気通信業務に携わっている私にとっては、今まであまりなじみの無い内容でしたが、実際に受講してみると自分主体で物事を考えているということを感じました。今回のセミナーで学んだ内容を常に念頭におき、少しでも業務に生かすことが出来れば業界問わずに本当のバリアフリーに繋がると思いました。



普段は何の疑問も抱かない押しボタン
車椅子だと・・・



ミ〜ちゃん＆ハルくん なぜ?なに?さくら湖



Q1. 三春ダムが完成するまでに何年かかったの?

A. 三春ダムが完成するまでにダム調査事務所設置から「26年」という長い年月がかかりました。

- 昭和43年 ダム予備調査を開始
- 昭和47年 大滝根ダム調査事務所を設置
- 昭和50年 三春ダム工事事務所に組織改正
// 三春ダム生活再建総合相談所を開設
- 昭和63年 ダム本体工事着工
- 平成 元年 春田大橋着工



三春ダムのシンボル

春田大橋

橋長 218m
主塔高 118m



一般公募1,985件
の中から決定!

三春ダム湖名選考委員会



- 平成 5年 ダム湖名「さくら湖」に決定
- 平成 6年 春田大橋 供用開始
- 平成 8年 試験湛水 開始
- 平成 9年 三春ダム資料館オープン
// 試験湛水終了
- 平成10年 三春ダム竣工



三春ダム
試験湛水時
クレストゲート
全門放流



12月の見学者

- 12月14日(火) 三春町立中郷小学校
4年生のみなさん(11名)
- 12月16日(木) 三春町沢石高齢者学級の
みなさん(46名)

中郷小学校のみなさん
堤体の中も見学しました



自然観察ステーションからのお知らせ

●星を見る会

- 1月14日(金)、22日(土)、28日(金)
午後7時～午後9時 ※荒天は中止

●巣箱づくり教室

- 1月16日(日)
午前10時～午後3時 午前中に巣箱を作り、
午後は巣箱のかけ方を学びます。
※前日までにステーションへ連絡してください。

～暖かい格好でご来場下さい～

編集後記

雪が舞い、さくら湖周辺にも本格的な冬の到来が感じられ、今年もいよいよ残すところあとわずかとなりました。今年には国内外を問わず、地震や台風といった災害が多数発生し、恐ろしさとともにあらためて自然への畏敬の念を抱かざるをえなかった年でした。人間は自然の一部であり、自然によって生かされているのだということを再認識し、新しい年を迎えたいと思います。

平成17年も身近な話題をわかりやすく提供できるよう努めて参りますので、三春ダムそして「さくら湖管理ニュース」をどうぞよろしく願いたします。(熊谷)

編集・発行

国土交通省
東北整備局

三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>